

平成30年5月9日

各位

会社名 株式会社 音通

代表者名 代表取締役社長 岡村 邦彦
(コード番号 7647 東証第二部)

問合わせ先 代表取締役副社長 仲川 進
(TEL 06-6372-9100)

通期連結業績予想の修正及び個別業績見込みの前期実績値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月10日に公表いたしました平成30年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成30年3月期の個別業績見込みと前期実績値との間に差異が生じる見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	17,705	400	360	160	0.82
今回修正 (B)	16,816	318	272	103	0.54
増減額 (B-A)	△889	△82	△88	△57	—
増減率	△5.0%	△20.5%	△24.4%	△35.6%	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	17,677	394	337	141	0.73

2. 個別業績見込みと前期実績値との差異 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前期実績 (A)	1,022	△24	299	264	1.36
当期業績見込み (B)	982	△30	224	148	0.77
増減額 (B-A)	△40	△6	△75	△116	—
増減率	△3.9%	—	△25.0%	△43.9%	—

3. 修正の理由

(連結)

通期の売上高につきましては、スポーツ事業は好調に推移したものの、小売事業においては競合店舗との競争激化、カラオケ事業においては新規出店案件の減少により、当初の予想を下回ることとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、全社的な効率経営の推進と経費削減の成果はあったものの、売上高の減少による売上総利益の減少により、予想を下回ることとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、収益性の低下した小売事業の店舗について、将来の計画を精査した上で減損損失を計上した結果、当初の予想を下回ることとなりました。

(個別)

平成 30 年 3 月 29 日にお知らせいたしましたとおり、連結子会社への賃貸借契約の解約に伴う立退き補償金支払による特別損失が発生したことから、当期純利益が前年実績を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上